

最近の管内経済概況

(2021年9月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、
持ち直しの動きに弱さがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、低迷している。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年11月15日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2021年11月現在)

発表月	2021年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月との判断比較
総括判断	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	
生産活動	<u>緩やかに持ち直している</u>	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	<u>弱い動きがみられる</u>	
個人消費	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる</u>	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	一部に下げ止まりの兆しがみられる	<u>低迷している</u>	低迷している	低迷している	低迷している	低迷している	
公共工事	<u>減少している</u>	<u>増加している</u>	増加している	<u>減少している</u>	減少している	減少している	
住宅建設	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
民間設備投資	減少している	<u>増加している</u>	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は減少、負債総額は増加している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

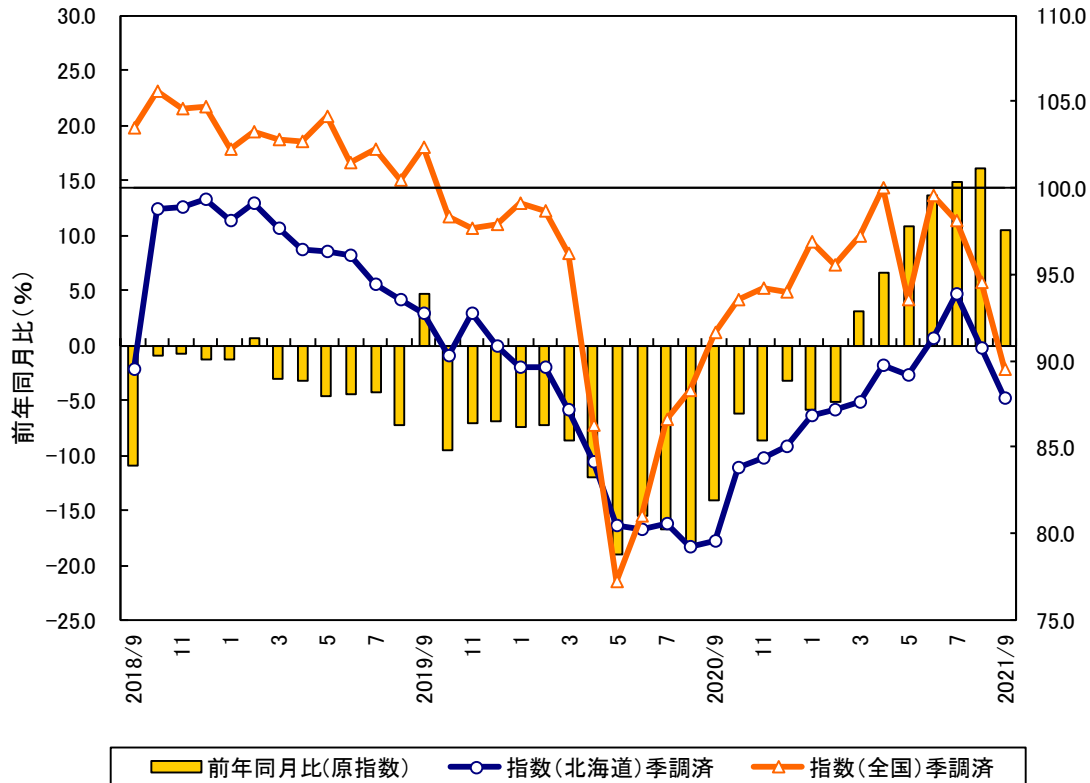
 上方修正  据え置き  下方修正

生産活動 ～ 弱い動きがみられる ～

9月の鉱工業生産は、前月比▲3.1%と2か月連続で低下した。低下業種は、一般機械工業など8業種となった。上昇業種は、食品工業など7業種となった。

< 9月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	87.9 (前月比▲ 3.1%)
全国 (速報)	89.5 (前月比▲ 5.4%)

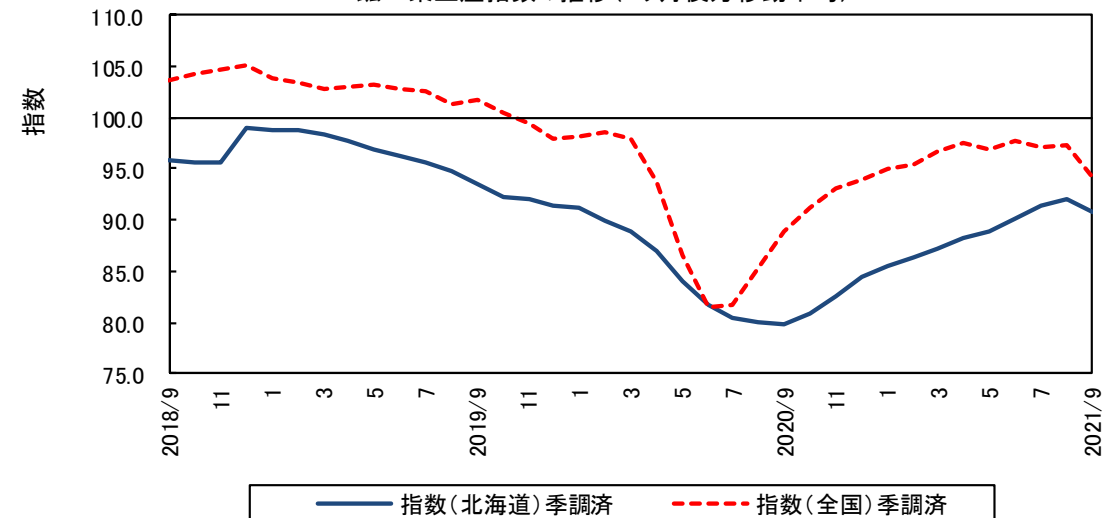
鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



【ヒアリング内容】

- ・前月に大型案件の受注があった反動で、一般機械の生産が減少した。(一般機械工業)
- ・自動車メーカーの減産の影響により、電子部品の生産が減少した。(電気機械工業)
- ・年末年始の帰省自粛などにより、お歳暮や巣ごもり消費による需要が例年より多くなると見込んで、かずのこなど塩蔵品の生産が増加した。(関係機関)
- ・東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う部品供給不足の影響が続いており、自動車部品の生産が減少した。10月と11月も当初生産計画からの減産が続く見込み。(輸送機械工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

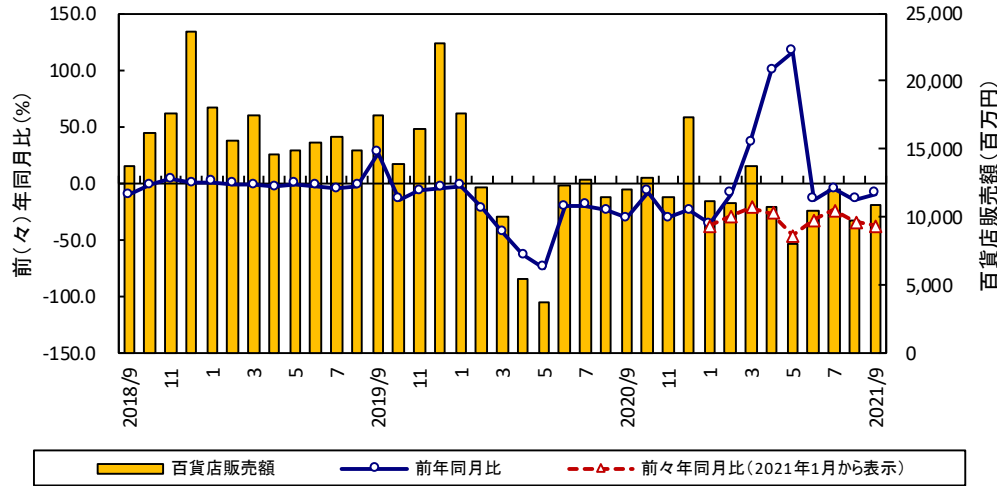
個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

9月の個人消費は、スーパー、ドラッグストア、ホームセンターは前年を上回ったものの、他の4業態は前年を下回った。

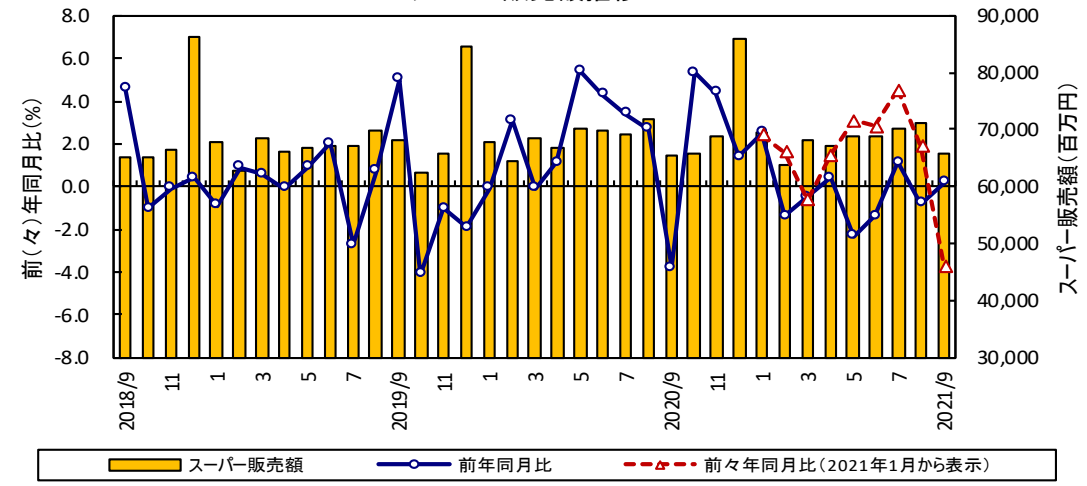
※前々年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、緊急事態宣言の影響もあり客数が減少したことにより、衣料品や飲食料品など全般的に振るわず、前年同月比▲9.1%（前々年同月比▲37.4%）と4か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、衣料品などの売上が不調だったものの、飲食料品が良かったことにより、同+0.2%（同▲3.7%）と2か月ぶりに前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同▲0.1%（同+0.7%）と2か月連続で前年を下回った。

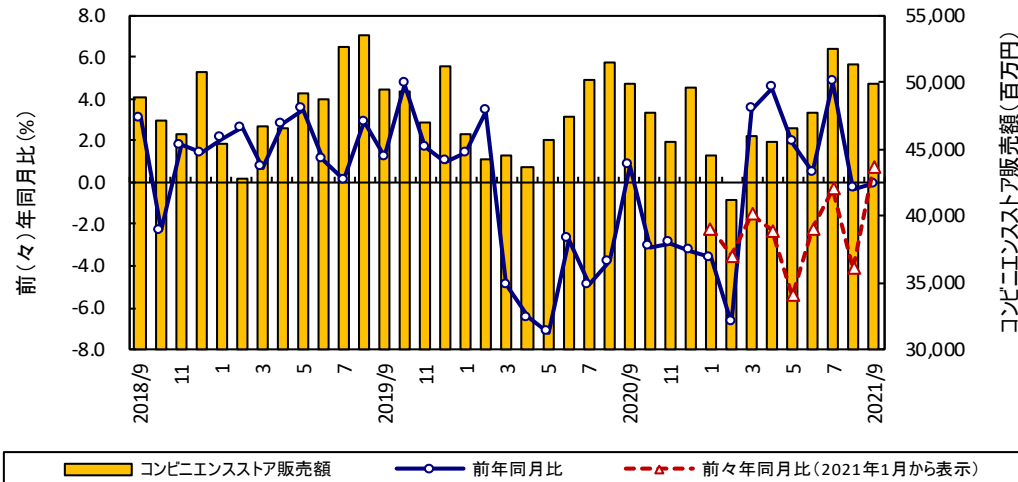
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

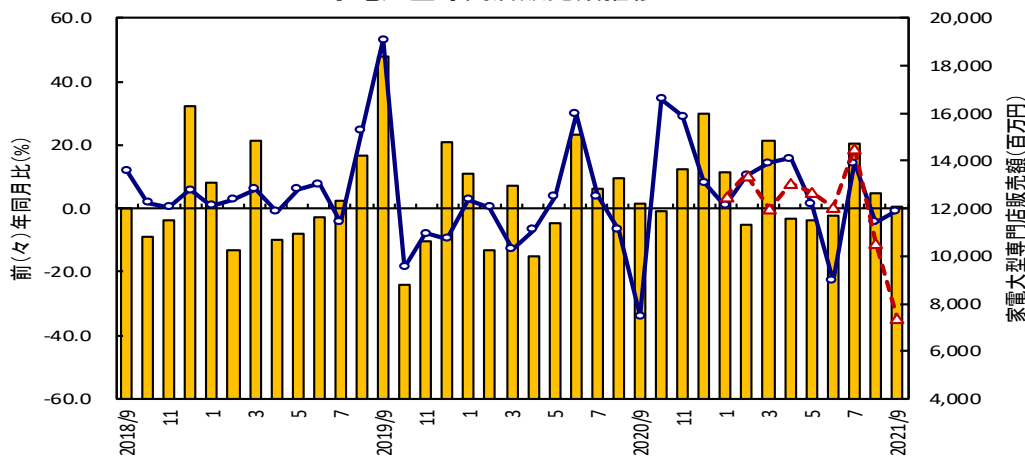
【ヒアリング内容】

- 新型コロナウイルス感染者数が多かった前半は催事も苦戦し、売上は減少した。後半から感染者数の減少とともに売上は増加したものの、前年には及ばなかった。（百貨店）
- 飲食料品は全般的に好調に推移した。果物はぶどうなどの秋の味覚を中心によく売れた。一方で、衣料品は緊急事態宣言による外出自粛の影響を受け、引き続き低調である。（スーパー）
- 緊急事態宣言中でもあり、人の動きが抑制されていた。観光地の売上に変化はみられず依然として低調で、シルバーウィークも平日とそれほど変わらなかった。（コンビニエンスストア）

(資料：北海道経済産業局)

- 家電販売は、同▲0.8%（同▲34.3%）と2か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+1.3%（同▲2.8%）と2か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+3.3%（同▲13.7%）と2か月ぶりに前年を上回った。
- 新車販売は、同▲33.8%（同▲45.1%）と3か月連続で前年を下回った。

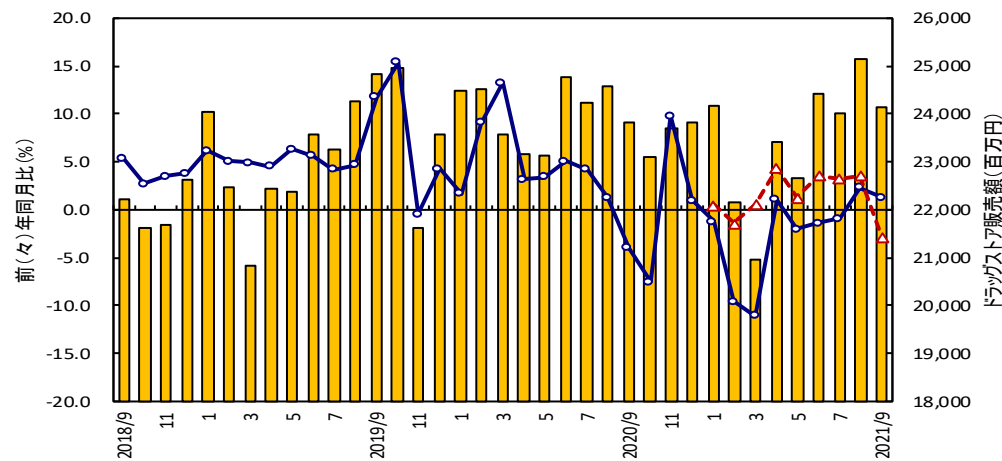
家電大型専門店販売額推移



■ 家電大型専門店販売額 ● 前年同月比 -▲- 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：北海道経済産業局)

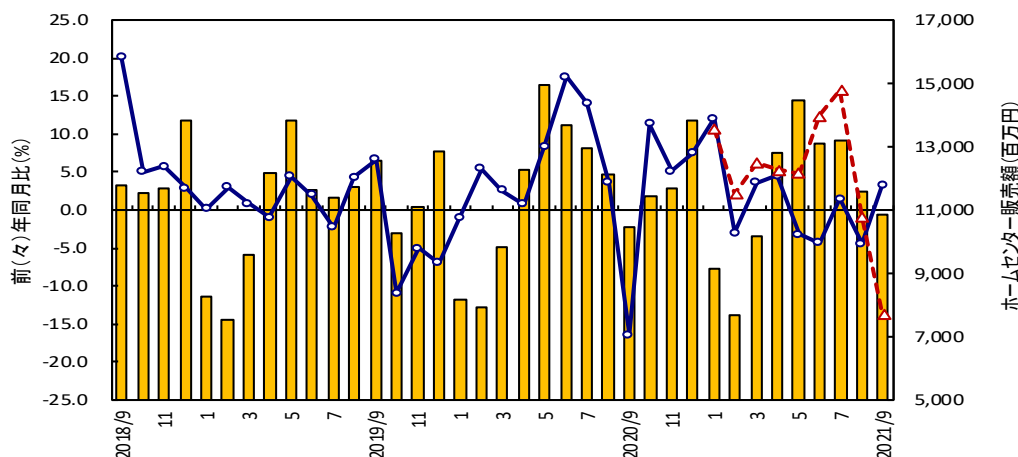
ドラッグストア販売額推移



■ ドラッグストア販売額 ● 前年同月比 -▲- 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



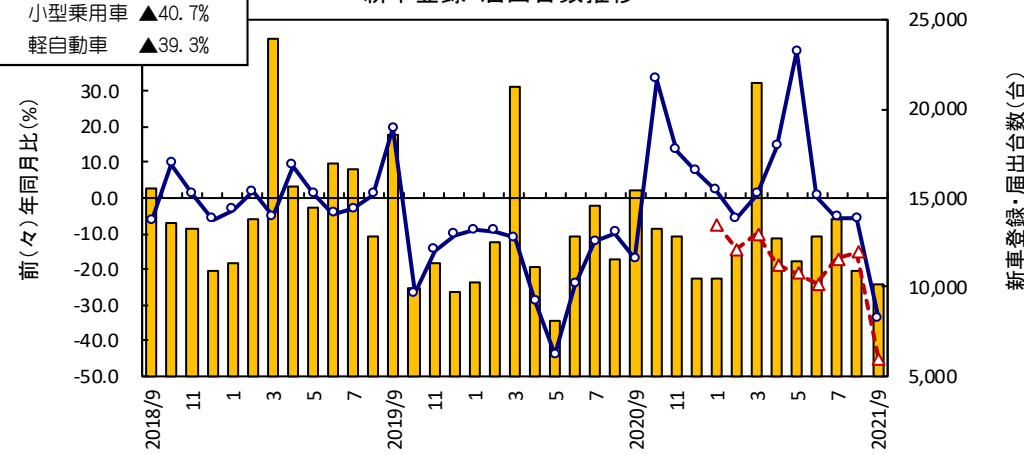
■ ホームセンター販売額 ● 前年同月比 -▲- 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：北海道経済産業局)

<9月>

- 普通乗用車 ▲22.5%
- 小型乗用車 ▲40.7%
- 軽自動車 ▲39.3%

新車登録・届出台数推移



■ 新車登録・届出台数 ● 前年同月比 -▲- 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

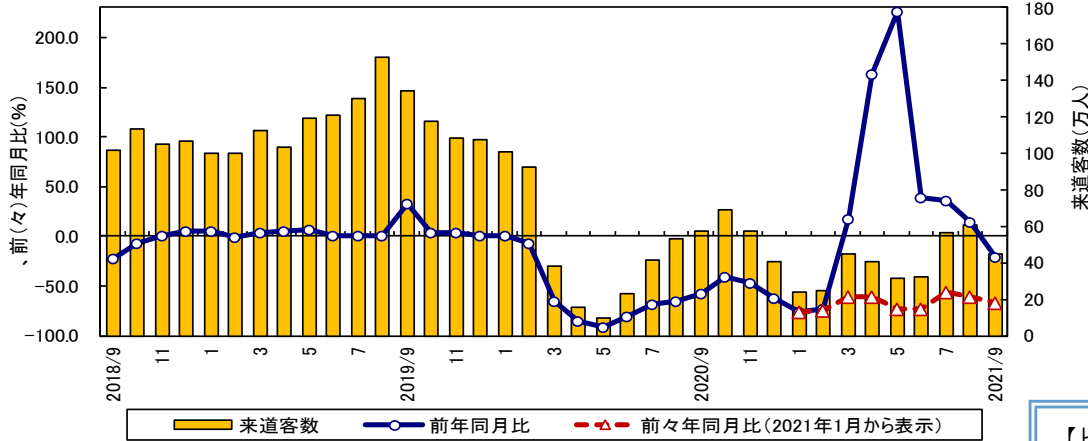
【ヒアリング内容】

- 新製品が発売されたスマートフォンの売上は良かったが、これまで好調だった大型テレビや洗濯機などの大型家電の需要が一服したことから、前年を下回った。(家電大型専門店)
- 不織布のものが感染症対策で推奨されているほか、機能性などに優れた商品が増加してきたことから、不織布マスクなどの売上が前年に比べて良かった。(ドラッグストア)
- 8月に比べて雨の日が少なく、気温も平年並みで天候に恵まれた。このため、外での作業に適した環境となり、屋根の塗料など家周辺の修繕などに必要な商品の売上が良かった。(ホームセンター)

観光 ～ 低迷している ～

9月の来道客数は、前年同月比▲21.1%（前々年同月比▲66.5%）と7か月ぶりに前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、3人であった。

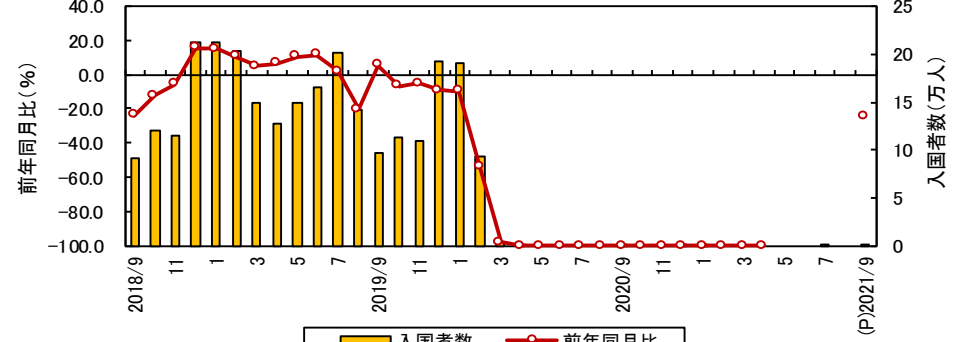
来道客数推移



< 9月 > 来道客数 449,732人 (▲21.1%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

道内外国人入国者数



(資料：法務省)

注) (P)は速報値

< 9月 >
 入国者数 3人 (▲25.0%)

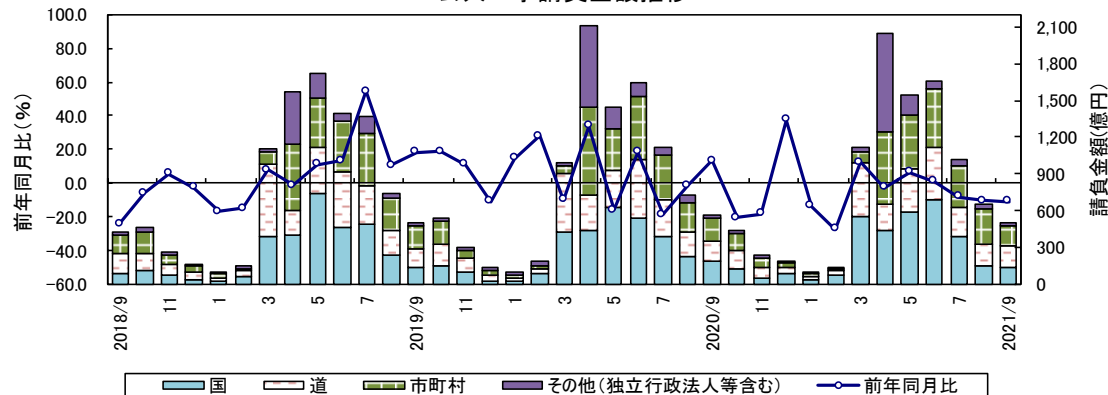
【ヒアリング内容】

- 9月は、緊急事態宣言があり、宿泊施設の稼働率、観光案内所の利用者数ともに前年を大きく下回った。休業する店もあり、土産物を買っている商店街はシルバーウィークも閑散としていた。10月も、宿泊施設の稼働率などは、GoToトラベルキャンペーンがあった前年には及ばないことが見込まれる。(関係機関)

公共工事 ～ 減少している ～

9月の公共工事請負金額は、道は前年を上回ったが、国、市町村が前年を下回り、前年同月比▲10.7%と3か月連続で前年を下回った。

公共工事請負金額推移



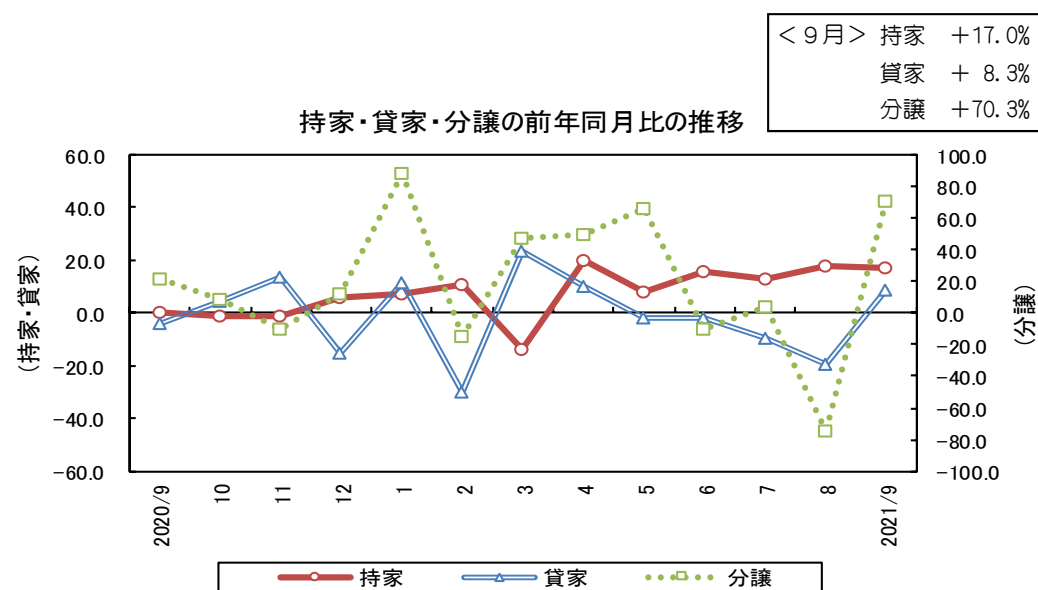
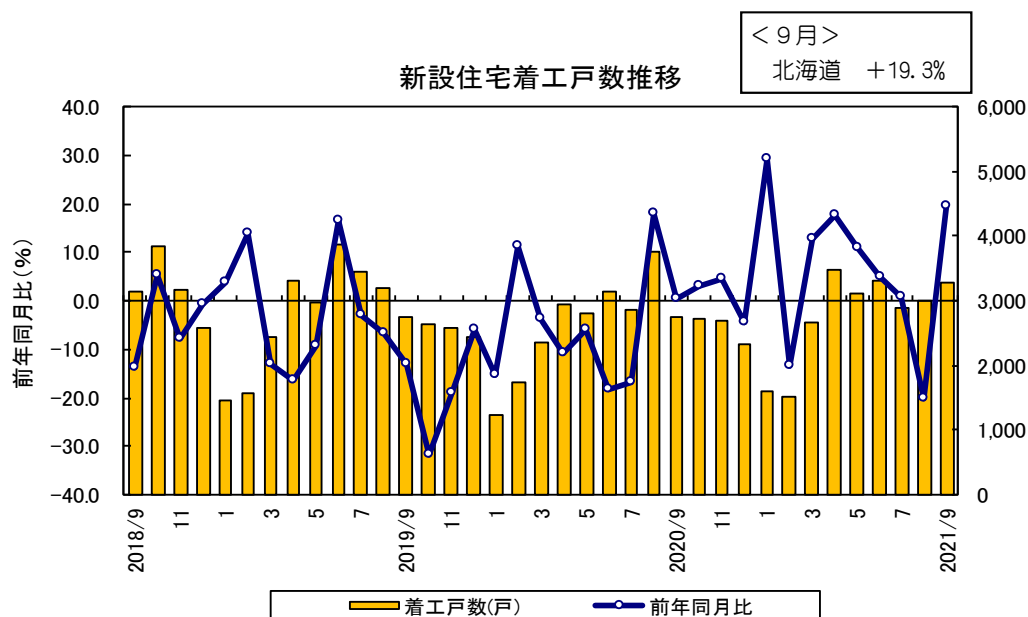
< 9月 >
 北海道 ▲10.7%
 (内訳)
 国 ▲25.8% 道 + 1.7% 市町村 ▲ 9.3% その他 + 9.5%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

9月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の全てで前年を上回り、前年同月比+19.3%と2か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比+4.2%と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年10月1日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 19.9%	+ 4.2%
製造業	▲ 4.0%	▲ 23.6%
非製造業	▲ 27.5%	+ 21.8%
全国	▲ 8.5%	+ 7.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年9月13日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	▲ 6.3%
製造業	▲ 17.7%	▲ 23.8%
非製造業	▲ 2.9%	+ 0.9%

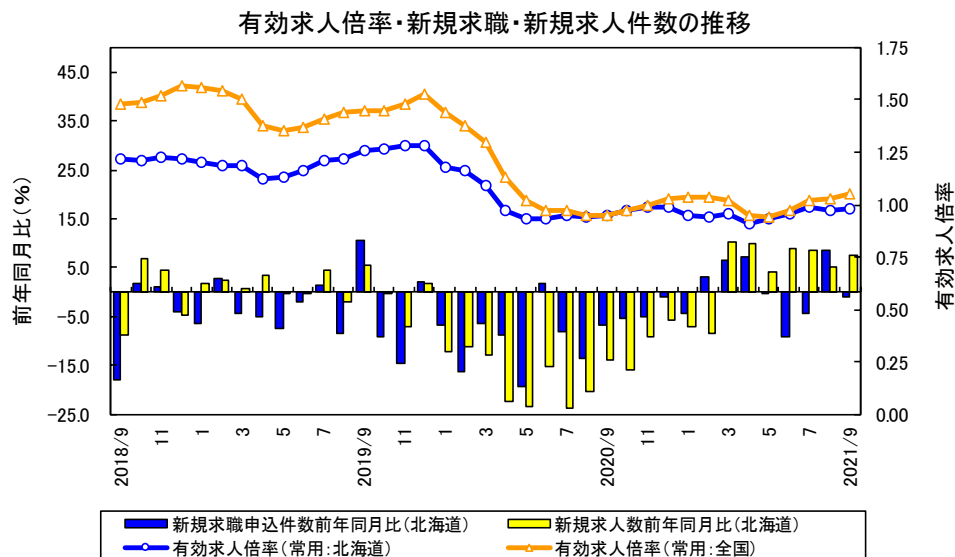
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

9月の有効求人倍率は、0.98倍と前年同月差0.03ポイント上昇し、4か月連続で前年を上回った。

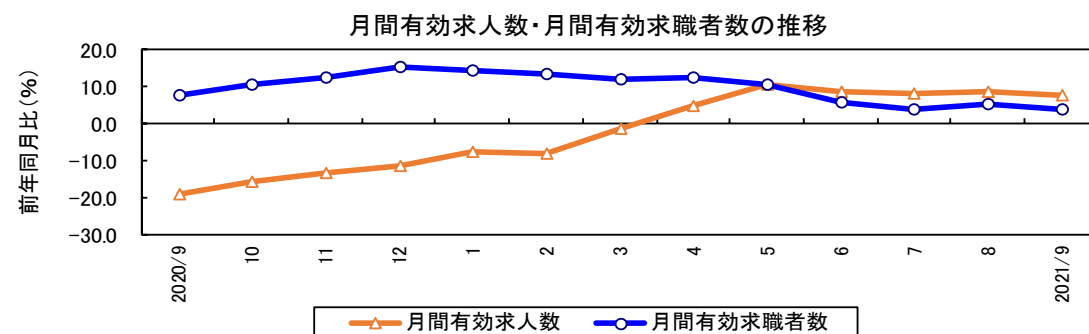


< 9月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.98倍
	新規求人数(前年同月比)	+ 7.4%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 0.8%
全国	有効求人倍率(常用)	1.05倍

< 9月 >

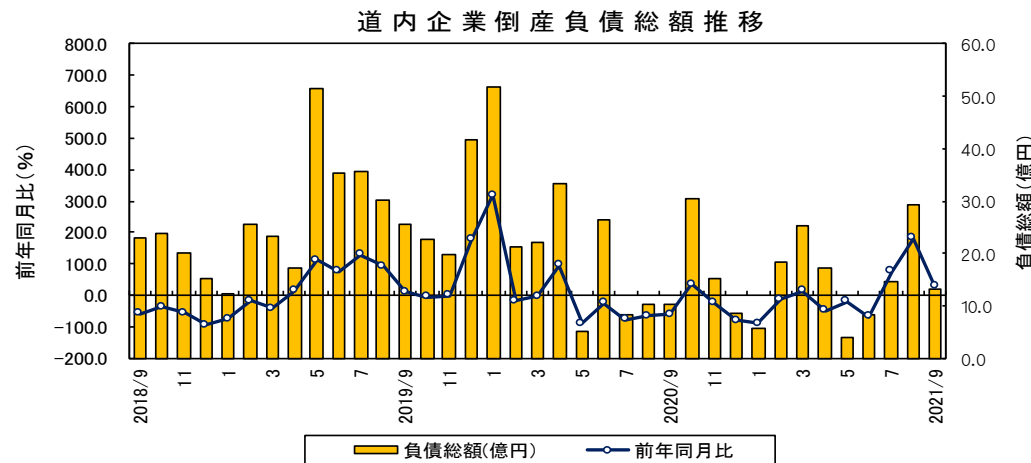
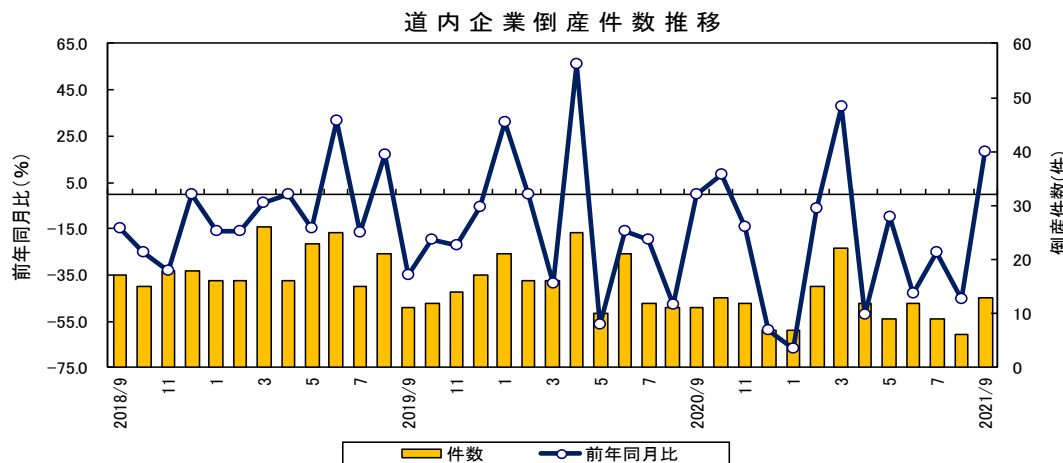
月間有効求人数	(前年同月比)	+ 7.6%
月間有効求職者数	(前年同月比)	+ 3.7%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加している ～

9月の倒産件数は13件で、前年同月比+18.2%（2件増）と6か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は13.3億円で、同+28.7%と3か月連続で前年を上回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)